



(図版左上より) 坂東慶一/岡田裕子/岡本太郎/多田正美/
中村哲也/鈴鹿芳康/川越悟/水嶋一江/大岩オスカル幸男/
ホンマタカシ/仲世古佳伸/木村太郎/多田正美/滝池朋子/
宇田見ひとみ/松の木タカヤ/ナウイン・ラワンチャイクン/
加藤力/会田誠・松藤浩之・鳥光桃代/藤原隆洋



Back To The Morphe 1995-2000

特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センター×東京アートポイント計画

ARCHIVE 「現代アート」の記録と記憶」プロジェクト

現代アートの記録と記憶が、アート・アーカイブによって甦る
1990年代の東京・青山で繰り広げられた、幻のアート・プロジェクト「Morphe」の姿が明らかになる8日間

トーク・セッション
三瀧末雄 (ミヅマ・アートギャラリー)
仲世古佳伸 (ナカセコアート)

12/15
19:00-21:00

資料展示
12/7~15
13:00-18:00

【場所】 3331 Arts Chiyoda 東京文化発信プロジェクト ROOM302
入場無料 (トークセッションの座席には限りがありますので、満席の場合は事前予約を頂いた方を優先します)

【主催】 特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センター
東京都、東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

Morphe (モルフェ)とは?

1995年から2000年にかけて、東京・青山を主な舞台として開催された、地域型のアートプロジェクト。ギャラリーを中心に、ブティック・喫茶店・自動車ショールームなどで、現代アートの展示・上演などを行う。1994年に青山で開催されたアート・イベント「マニフェスト」の発展形。変容し続ける世界を俯瞰する視点から、夢と眠りを司るギリシアの神モルフェウスにちなんで、「Morphe」と名付けられた。当時の東京・現代アートの中心地である銀座に対して、ファッションの最先端の地、青山から新しい流れを生み出そうとしたのが、「マニフェスト」＝「モルフェ」である。

1994年、青山にミヅマ・アート・ギャラリーを開廊した三瀧末雄、AKI-EXの秋薫里によって立ち上げられ、1995年から2000年まで仲世古佳伸が総合ディレクションを務めた。1995年のテーマ「亀裂：City Crack」は、阪神大震災・地下鉄サリン事件など、同時代の「都市の危機」と正面から向き合ったもの。また、1998年には三重県・南勢町をもう一つの舞台に加え、2000年には香港のARTscopeとコラボレーションするなど、毎年特徴のあるプログラムが行われた。全体を通してグラフィックデザインを、(株)アゾンアンドアソシエイツが担当した。

1995

亀裂

City Crack

1996

翼

Asian Wing

1997

連鎖

Transmisson

1998

海流

Beyond The Horizon

2000

亜細亜遺伝子

Asian Meme

P+ARCHIVE × Morphe

P+ARCHIVEでは現在、Morphe事務局が保存してきた関連資料を仮所蔵し、公開に向けて整理・分類しています。Morpheの活動を今も詳細に伝えてくれるのは、これらの貴重な資料のみ。P+ARCHIVEによる資料整理活動の成果を、トーク・セッションと展示を通じてお伝えします。

トーク・セッション

【内容】 Morphe に深く関わった二氏をゲストに迎えるトーク・セッション

【ゲスト】 仲世古 佳伸 (ナカセコアート)

三瀧 末雄 (ミヅマ・アートギャラリー)

【コーディネーター】 柴田 葵 (桜美林大学非常勤講師)

【日時】 2011年 12月 15日(木) 19:00-21:00

【定員】 40名

【入場料】 無料

座席には限りがありますので、満席の場合は事前予約を頂いた方を優先します
予約メールアドレス info@art-society.com

資料展示

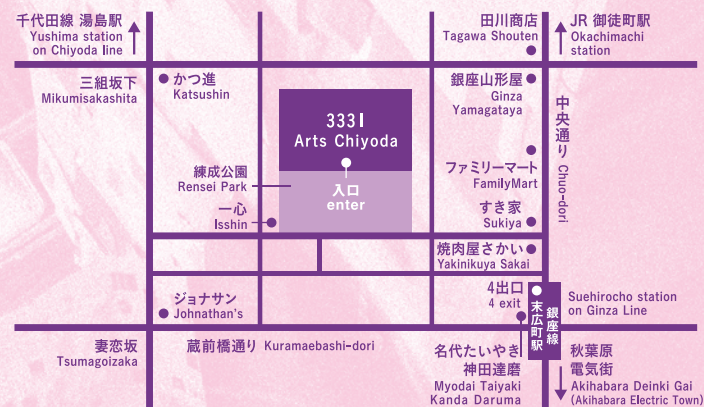
【内容】 Morphe'95-2000 までの活動を記録した、写真・文書などをアーカイブ・ルームに展示します。

【日時】 2011年 12月 7日(水) ~ 15日(木)

13:00-18:00

【入場料】 無料

会場



〒101-0021 東京都千代田区外神田 6-11-14 3331 Arts Chiyoda
東京文化発信プロジェクト ROOM302

- 東京メトロ銀座線末広町駅 4 番出口より徒歩 1 分
- 東京メトロ千代田線湯島駅 6 番出口より徒歩 3 分
- 都営大江戸線上新御徒町駅 A1 番出口より徒歩 6 分
- JR 御徒町駅南口より徒歩 7 分
- JR 秋葉原駅電気街口より徒歩 8 分

ゲスト紹介



撮影：武田陽介

三瀧 末雄 Suelo Mizuma

東京生まれ。1980年代からギャラリー活動を開始、1994年ミヅマアートギャラリーを青山に開廊。2002年、中目黒にギャラリーを移転し、ミヅマ・アクションを併設。2008年、北京に Mizuma & One Gallery を開廊。2009年、市谷田町にミヅマアートギャラリーを移転、中目黒のスペースはミヅマ・アクションとして活動を継続中。日本・アジアの若手作家を中心に、新進アーティストの発掘・育成を積極的に行っている。



仲世古 佳伸 Keishin Nakaseko

1955年、三重県生まれ。1980年、大阪芸術大学芸術計画学科卒業。1991年、仲世古佳伸スペース(現ナカセコアート)設立。アートディレクション、テキスト、キュレーションなど、アートという視点から多義的な表現活動を行う。1995-2000年まで、「モルフェ」の総合ディレクターを務めた。

特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センター

都市や地域における芸術文化活動並びにパブリックアートの情報発信及び調査研究・実施活動に関する事業を行い、都市や地域の文化的発展と市民の文化環境の向上に寄与することを目的として活動する非営利芸術団体。

<http://www.art-society.com>

P+ARCHIVE

「地域・社会に関わるアート」に関心のある市民や学生、研究者が情報収集をおこなうことができるアートアーカイブを構築・公開するとともに、アート・プロジェクトを記録・アーカイブ化する人材を育成することで、「地域・社会に関わるアート」のプラットフォームを創出することを目的とした活動である。本プロジェクトは「東京文化発信プロジェクト室」との共催事業として運営されている。

<http://www.art-society.com/parchive/>

東京アートポイント計画

東京の様々な人・まち・活動をアートで結ぶことで、東京の多様な魅力を地域・市民の参画により創造・発信することを目指し、「東京文化発信プロジェクト」の一環として東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が展開している事業です。

<http://www.bh-project.jp>

お問い合わせ

特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センター
info@art-society.com
<http://www.art-society.com>